□ 農地防災事業 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
--

1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		63,000千円	
年 効 用		3 , 5 8 2 千円	
廃用損失額		1,270千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		40年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0515	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	68,283千円	
費用便益比	= ÷	1.08	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	269	排水施設の整備に伴う施設の 維持管理費の節減 対象施設:排水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	1 8 5	機能低下した排水施設の更新 による従前の農業生産の維持 対象施設:排水路
施設更新による 災害防止	災害防止効果	3,128	機能低下した排水施設の整備 により、湛水被害等の災害発 生を防止 対象施設:農地、農作物、農 業用施設
	計	3 , 5 8 2	

1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		47,250千円	
年 効 用		2 , 9 5 8千円	
廃用損失額		1,672	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0512	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	56,101千円	
費用便益比	= ÷	1.18	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	9 4	用排水施設の整備に伴う施設 の維持管理費の節減 対象施設:用排水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	4 2 5	機能低下した施設の更新によ る従前の農業生産の維持 対象施設:用排水路
施設更新による 災害防止	災害防止効果	2,439	機能低下した排水施設の整備 により、湛水等による災害発 生を防止 対象施設:農地、農作物、農 業用施設
	計	2,958	

事業名	農地防災事業 (ため池等整備事業(農業用河川工作物等応急対策))	都道府県名	北海道	地区名	中愛別
-----	-------------------------------------	-------	-----	-----	-----

1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		136,500千円	
年 効 用		16,950千円	
廃用損失額		5 , 4 1 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		5 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0472	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	353,697千円	
費用便益比	= ÷	2.59	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2 3 4	頭首工施設の整備に伴う施設 の維持管理費の節減 対象施設:頭首工
施設更新による 災害防止	災害防止効果	16,716	機能低下した頭首工施設の整備により、洪水等による災害 発生を防止 対象施設:農地、農作物、農 業用施設
	計	16,950	

1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		315,000千円	
年 効 用		19,944千円	
廃用損失額		4,717	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		5 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0475	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総便益	= ÷ -	415,157千円	
費用便益比	= ÷	1.31	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	8 1	頭首工施設の整備に伴う施設 の維持管理費の節減 対象施設:頭首工
施設更新による 災害防止	災害防止効果	19,863	機能低下した頭首工施設の整備により、洪水等による災害 発生を防止 対象施設:農地、農作物、農 業用施設
	計	19,944	

事業名 農地保全整備事業	都道府県名	北海道	地区名	士幌北生
--------------	-------	-----	-----	------

1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		3 1 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		30,280千円	
廃用損失額		ı	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0589	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 1 4 , 0 9 2 千円	
費用便益比	= ÷	1 . 6 3	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	11,545	石れき除去による収量増 対象作物:小麦、ばれいしょ、小 豆、てんさい、スイートコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	18,735	石れき除去により作業効率が高まり 労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物:小麦、ばれいしょ、小 豆、てんさい、スイートコーン
	計	30,280	

事業名 中山間地域総合農地防災事業 都道府県名 北海道 地区名 東大里

1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		27,300千円	
年 効 用		1,919千円	
廃用損失額		1,700千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0512	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	35,780千円	
費用便益比	- ÷	1.31	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	2 6	水害や土砂埋没被害防止による収量 増 対象作物:ばれいしょ、スイートコ ーン、牧草、デントコーン、南瓜
営農経費の節減	維持管理費節減効果	4 5 2	排水路改修に伴う施設の維持管理費 の節減 対象施設:排水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	2 0 2	排水路更新による従前の農業生産の 維持 対象施設:排水路
施設更新による 災害防止	災害防止効果	1,239	排水路の改修や土留工による農用地 等の被害防止 対象施設:農地、農家施設(鶏舎)
	計	1,919	